
岐阜県立長良高等学校学校評議員会議事録

1 会議の名称 長良高等学校評議員会（平成22年度 第1回）

2 会議の構成

委員 （敬称略） （五十音順）	澤田 栄 杉山 貞子 高橋 忠明 林 美貴子 渡辺 丈展	丸栄石油（株）代表取締役 主婦（本校同窓会員） 岐阜市立東長良中学校長 主婦（本校PTA役員） NPO法人岐阜県レクリエーション協会専務理事
学校側	柴田 益孝 小寺 正則 藤吉 一仁 中村 真章 竹中 良典 後藤ひとみ	校長 教頭 事務長 教務主任 生徒指導主事 進路指導主事

3 会議の目的

学校運営等について地域住民や関係機関の代表者等から幅広く意見を聴き、地域社会からの支援・協力を得て、開かれた特色ある学校づくりを推進する。

4 会議の開催

平成22年7月6日（火） 10:00～12:00 長良高等学校 校長室他
委員4人と学校側6人が出席

5 会議の概要

- (1) 学校評議員へ委嘱状交付
- (2) 出席者の紹介
- (3) 学校長挨拶
- (4) 本校の指導方針と重点目標の説明
- (5) 授業参観（第3時限）
- (6) 意見交換
 - ① 授業参観の感想
 - ② 本校への要望等について
 - ③ 評価アンケートについて
- (7) 学校長謝辞

《 会議内容の報告 》

(1)テーマ 学校長挨拶、本校の指導方針と重点目標の説明

- 学校長
- ・評議員の任期は5月1日から1年間である。評議員の皆様には忌憚のないご意見をいただき、学校の改善に役立てたいのでよろしくお願いしたい。
 - ・今年度より年2回の開催となった。2回目は学校関係者委員会を兼ね、アンケート等もお願いして、本校の活動を評価していただく予定である
 - ・「教育方針」に掲げているように、本校は文武両道を目指している。「二兎追う者は一兎を得ず」と言うが、あえて二兎追いたいと考えている。
 - ・「教育目標」「重点目標」「実践事項」は資料のとおりである。ご理解とご協力をお願いしたい。
- 教 務
- ・授業時間の確保に努め、火・木曜日は7限授業を実施している。昨年度より7限の日も50分授業（それまでは45分）にしたが、懸念された部活動への影響もほとんどなく、今年度部活動は好成績を収めている。さらに学習への好結果を期待したい。
 - ・公開授業週間を年3回設け、他の教員の授業参観を義務づけ、授業改善に役立てている。
 - ・生徒の学習習慣の確立を支援するため、毎日の授業を大切にすることを共通理解している。
 - ・ホームページによる情報発信を効果的に行うため、今年度ホームページの刷新を図っている。
- 生徒指導
- ・スローガンは「礼儀正しく、そして1と0へのチャレンジ」である。良いことは1番を目指そう、悪いこと（交通事故、遅刻、問題行動等）は0にしようという意味である。実現はむずかしいが挑戦したいと考えている。
 - ・毎朝交通安全指導を兼ねてあいさつ運動を校門で行っている。横断歩道の渡り方などずいぶん規律が守れるようになった。
 - ・身だしなみ指導の効果が現れ、女子のスカート丈、男子のTシャツ（カッターシャツの下に着る）の色の違反者、ボタンをかけない者、シャツ出しの者が少なくなった。本校の生徒は指導の繰り返しにより一歩ずつ前進できるので、今後も継続して指導したい。
 - ・自転車の事故は時々発生しているが大事には至っていない。
 - ・教育相談については、全職員が共通の危機意識をもって最善の対応を心がけている。
- 進路指導
- [進路の手引き「峰」を配布して説明]
- ・本校生徒の約7割が国公立大学への進学を希望している。合格者数を増やすための支援が課題となっている。現3年生は順調に伸びているので期待したい。
 - ・「峰」の合格体験記は良い内容であるので、在校生に読んでもらい刺激を受けてほしい。
 - ・昨年度より実施している「土曜活用（補習、自習室の開放）」は、今年度充実し、3年生約200名が参加している。
 - ・「進路だより」の発刊に努め、現在（7月6日まで）30号を発刊した。
- 質問
- 回答
- ・土曜活用は毎週行われているのか。また、指導費は支払われているのか。
 - ・ほぼ毎週行われている。年間20回程実施する予定である。指導費はPTAより支払われている。また保険にも加入している。

意見 自分の子どもは土曜活用に喜んで出席している。定時に起き、一日を有意義に活用するのに適した企画であると考えている。休日を返上しての先生方のご指導に感謝したい。

(2)テーマ 意見交換(授業参観の感想 本校への要望等)

意見1 印象の良い先生は生徒からも人気があるものだ。長良高の先生の授業は全身全霊を打ち込んでおりすばらしいと感じた。ぜひこの姿勢を貫いてほしい。また、何が幸せなのか。何のために勉強するのか。勉強したことをどのように人生の幸福に結びつけるのか。この課題を生徒と共有して考えるヒントを与えてほしい。

意見2 近くにいたので知ってはいたが、実際に水泳の授業を見てその迫力に感心した。さすがは高校生だと感じた。
クーラーを使用していたが、学習への集中という点で効果的である。
教室の雰囲気が皆同じに感じられた。彩りを添えてクラスの独自性あふれた教室にするとよい。例えば、「校訓」「教育方針」「生徒会のスローガン」「クラス目標」を掲げたりするなど工夫してほしい。全学級同一の文言が掲げられていてもよい。

意見3 長良高に高校見学会で訪れたある中学生の親の話では、学校内が汚いそうである。もう少し整理・整頓に心がけたらよい。
PTAのあいさつ運動に参加したが、生徒指導部長さんの熱心な指導に感心した。

意見4 長良高の生徒は本当に頑張っていると感じた。校内が汚いという意見があったが、他の高校と比較するときれいである。
自分の娘は長良高を卒業したが、3年間陸上部で目一杯活躍し、故障や治療の体験をとおして現実的な夢を抱き、現在理学療法士になって生き生きと生活している。高校3年間は「夢」を大切に、将来設計を目指す、そんな期間であってほしい。

意見5 恥ずかしくない教養、人間性を身につけることが人生の目標であると考えている。また、経験は知識を見識にまで高めてくれる。この世には世界遺産とも言うべき受け継ぐべきものが多々あるが、それらを受け継ぐために勉強するのである。生徒、教師、保護者が大きな目標を共有し、生徒が勉強や経験を通じて、教養を高め、豊かな人間性を身につけられるよう支援していただきたい。

学校長 本校の生徒はバランスがとれ、情緒も安定している。目標に向かって努力する姿は好感が持てる。また、授業熱心な先生方が多く、本校は学習環境として恵まれている。これからも生徒には頑張らせたいと考えているので、いつでも立ち寄りいただきご指導ご助言をお願いしたい。

6 会議のまとめ

今年度3名の方が新しく委員になられたが、ご本人やお子さんが本校の卒業生であったり、職務上本校の実情に詳しい方であったりして、昨年度から継続の方々を含め全員が本校の教育活動の内容、昨年度との違い等をよく理解していただけたと感じている。

本校生徒の学習姿勢、身だしなみ等に好印象を持たれた方が多く、また、本校の様々な取り組みには概ね良い評価をいただいた。ただし、校内の美化および教室内の掲示物をはじめとした学習環境については改善の余地があるという指摘があった。現状に満足せず、さらなる教育の質の向上を目指し、工夫改善に努めたいと考える。